

2026 年度(令和 8 年度)学校評価自己評価表

神辺中学校区	校番 234	福山市立神辺中学校
最終更新日	2026年(令和8年)4月16日	

I 福山市

めざす姿	すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <p>○授業と宿題を循環させようとする取組が評価できる。</p> <p>○以前よりすれ違う生徒の挨拶が増えた。</p> <p>●課題を共有し、引き続き生徒に寄り添い実態に応じた取組を重ねてほしい。</p> <p>●地域と関わる機会を増やし、地域と共にある学校にしてほしい。</p>
--

<p>児童生徒の現状</p> <p>○自分で目標を立て、友達と学び合いながら「考える、選ぶ、決める」経験を積み重ねることにより、「学びが面白い」と実感する児童生徒が増えてきた。</p> <p>○自分たちが学校を創る主体となり、試行錯誤しながら創意工夫することを楽しむ児童生徒の姿が見られる。</p> <p>●家庭学習時間が少ない。スマホやゲームの利用時間が長い。</p>

育成する資質・能力	学びに向かう力 コミュニケーション力
めざすこども像(義務教育修了時の姿)	共に学び、共に支えながら、未来を切り開き、地域・学校に貢献する生徒
中学校区として統一した取組等	<p>○児童生徒が、授業での学びを日常の様々な場面で活用し行動できるようになる。</p> <p>○児童生徒の、自己肯定感・自己有用感が高まるよう支援する。</p> <p>○校種、教科・領域をこえた合同研修等を行う。</p>

III 自校

<p>学校教育目標</p> <p>「よりよく生きる力の育成 ～主体・自律・貢献～」</p>

<p>現状</p> <p><生徒></p> <p>・「授業で、新しいことを知ったり問題を考えたりすることが楽しい。」</p> <p>肯定的評価 81.4%、市平均 85.3%</p> <p>・「授業で、友だちの考えを聞いたり友だちと話し合ったりすることが楽しい。」</p> <p>肯定的評価 91.1%、市平均 92.0%</p> <p>・「読書が好き」</p> <p>肯定的評価 62.4%、市平均 60.6%</p> <p>【「第三次福山市教育振興基本計画」指標最終アンケートより】</p> <p><教職員></p> <p>・「仕事にやりがいを感じている」 肯定的評価 100.0%、市平均 90.1%</p> <p>・「学校内の活動について、失敗を恐れずに挑戦することができている」</p> <p>肯定的評価 96.6%、市平均 84.8%</p> <p>【「第三次福山市教育振興基本計画」指標最終アンケートより】</p>
--

育成する資質・能力	A 学びに向かう力 B コミュニケーション力 C 課題設定・解決力	
めざすこども像	1年	A 基礎的基本的な力を身に付ける中で、興味関心が向くことを見つける。 B 他者と自分の考えの相違に気をつけて聴き、筋道を立てて伝えることができる。 C 物事について、多面的にとらえる中で課題を発見し、解決することができる。
	2年	A 興味関心が向くことについて、自分自身で調べたり発表したりすることができる。 B 他者と対話する中で、意見の内容をまとめ、自らの考えを伝えることができる。 C 課題について、他者の意見や助言の中で、与えられた課題を解決できる。
	3年	A 興味関心のあることだけでなく、調査する中で、新たに考えを広げたりできる。 B 他者と対話し交流する中で、新たな発見や意見に気づき、良好な関係をつくる。 C 与えられた課題だけではなく、自ら適切にテーマを設定し、解決できる。

研究	テーマ	できる!わかる!主体的に取り組む児童生徒の育成
	内容等	<p>・「ねらい」「学習課題」「まとめ」を明確化し、授業のゴールに向けて、課題や目標に主体的に取り組む生徒の育成</p> <p>・身近なものを題材に、「なぜ?」を導入に取り入れることで、意欲的に学ぶ生徒の育成</p>
めざす授業の姿		<p>・校内研修の充実(校内授業研究、校区研修、教科指導研修等)</p> <p>・基礎学力向上に向けた取組(「学びたい」と思えるような授業づくり)</p> <p>・各種調査結果の分析(結果分析取組シート、ポートフォリオの活用)</p> <p>・学習規律の徹底とICT関連機器の適切な活用</p> <p>・家庭学習の定着(復習と予習の往還)</p>

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立神辺中学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	力 _レ 達 _セ 成 _セ 評 _バ	力 _レ 達 _セ 成 _セ 評 _バ	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力 _レ 達 _セ 成 _セ 評 _バ	力 _レ 達 _セ 成 _セ 評 _バ	総合 評 _バ
5	1 学習者主体の 学びを実現す る。	1	継 続	・生徒が何のた めに学ぶのか 何を学ぶのか を明確にした 授業を実施す る。	・「〇〇とは？」 という問い(めあ て)に対する振り 返しを行う。めあ てを明示した授業 を実施する。 ・身近な授業を題 材にして、生徒の 「なぜ？」を引き 出す導入の工夫を 実施する。 ・授業の終わりに 評価問題を実施 し、「できる、わ かる」を実感する 授業を実施する。 ・生徒が何のため にこの学びを行 うのか、学習のキ ーワードを伝える。 ・予習・復習を組 み込んだ授業を 実施する。	・常に『めあて』 を明示して授業を 行っている」 教員アンケート 肯定的評価 100% ・アンケートの結果 の分析 「伸びを実感した」 生徒の割合90% 以上(前年度 84%) ・定期試験の通過率 40%未満の生徒の 割合が30%未満 ・標準学力調査通過率 40%未満の生徒の割 合が前回実施より改 善								
2	2 自己指導能力 の育成をめざ す。	2	継 続	・委員会や学習 係、掃除当番な ど、様々な役割 に対して責任 をもって最後 まで取り組む ことができる 生徒の育成を 目指す。	・委員会、係活動 を円滑に進めるこ とができるよう に、生徒会執行部 と教員が連携し、 担当生徒に伝達す る。 ・学級での役割に ついて、各クラス で確認を行う。 ・生活習慣改善の ため生徒会による 取組を進める。	・「委員会活動や係活 動、給食当番、掃除な どに積極的に参加し ている」の肯定的評価 90%以上 ・スマホ・ゲーム等の 平日使用時間3時間 未満の生徒の割合5 0%未満 (前年度2月、44%)								
2	3 地域貢献でき る生徒の育成 をめざす。	3	継 続	・地域を大切に 思う生徒の育 成をめざす。	・総合的な学習の 時間で地域とつな がることを意識し たカリキュラムの 実施を行う。 1年福山ばら 2年職場体験 3年かんばストリート	・「地域の行事や学校 のボランティア(奉仕 活動)に参加したこ とがある」生徒の割合5 0%以上								

					<ul style="list-style-type: none"> ・CSの取組と連動して、地域とともにボランティア活動を行う。 										
8	4	3	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校を目指し、確かな情報を公開できるよう取り組む。 ・教職員の業務量の適正管理、健康確保を図ることで、学校教育の質を高める。 ・不祥事を起こさないよう取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやスグー、学年、学級通信等で情報を公開する。 ・週1回の定時退校日を確実に実施する。 ・企画委員会で業務量管理についての取組を検討、実行する。 ・不祥事防止委員会を活用して、内容について職員へ周知を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートから、「学校の様子がよくわかる」と回答する保護者の割合を80%以上（昨年度71.5%） ・1か月時間外在校等時間の平均時間30時間以下 ・不祥事防止委員会で話し合ったことをもとに、職員研修を月に1回程度行う。 									

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。